

若者文化イベントの企画・運営業務委託 評価基準書

区分	記載項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
(1)趣旨の理解	①趣旨の理解について	本業務の目的を理解した内容となっているか	30 <12>
(2)業務実績	①提案事業者の業務実績	催事の企画運営の実績があり、本業務の履行に必要な知見や専門知識、ノウハウ、実績を有しているか。	30 <12>
(3)業務執行体制	①人員配置等	業務執行のために適切な人員配置及び役割分担が妥当か。 進捗確認など市との連絡・調整が速やかに行える体制か。 問題発生時の適切な対応が考慮されているか。	30 <12>
	②スケジュール	業務遂行へのスケジュールは実現性があり、適切か。	30 <12>
(4)企画内容	①実現可能性	仕様書の内容について、より詳細で具体的な内容を提案し、実現性の高いものとなっているか。	30 <12>
	②企画書	【企画】 ステージや出展ブースの提案は、若者の興味を引く内容か。	60 <24>
		【連携】 ステージや出展ブースの提案は、地元企業が関わる工夫がされているか。	30 <12>
	③周辺配慮	ステージ内容に対して、会場レイアウトや警備・誘導計画は、周辺環境に配慮したものになっているか。	30 <12>
	④広報	広報や告知は、若年層にアプローチした方法や内容か。	30 <12>
(5)価格	①令和 7 年度の履行期間の委託料の総額	100 点× { 1 - 見積額 / 提案限度価格 } (小数点以下切捨て) ※見積額及び提案限度価格は消費税及び地方消費税を除く額で算出する。	100
合 計			400